

かっぱの通信

2022年2月20日

vol. 140

発行 北川かっぱの会

<http://kitagawakappanokai.la.coccan.jp/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

春の気配を
見つけた号

かっぱの楽校 生き物講座 第110回



「生きもの講座」
は100回連載を
記念し、表紙ペ
ージでお届けし
ています。

蜂達の冬越し

今年の啓蟄は暦の上で3月5日。越冬していた虫達が暖かな陽気で目覚める頃です。実際にはまだまだ寒いですね。冬眠中のクワガタ採取で、倒木の朽木の中にスズメバチが一匹隠れて冬眠していました。動きは鈍いので襲ってきたりはしません。

スズメバチの仲間は、女王蜂だけが寒さをしのぐ場所で冬眠をします。他の働き蜂達は、晩秋には皆死んでしまいます。アシナガバチもスズメバチと同じく、女王蜂だけが生き残り、越冬します。僕はまだ越冬中のアシナガバチを見かけた事はありませんが、倒木や住宅の屋根裏、時にはスズメバチの古い巣の中で越冬するようです。ちなみにスズメバチの巣は使われるのは一年だけで、古い巣が再利用される事はないそうです。一方、ミツバチは、スズメバチやアシナガバチとは違い、巣の中で、集団で体を寄せ合い、女王蜂と一緒に冬を過ごします。最近では、個人でミツバチの養蜂を行う人も増えているようで、僕も一度トライしてみたいと思っています。

さて、冬眠から目を覚ましたスズメバチの女王蜂は、4月の中頃か

ら新しい巣作り、産卵までを単独で行います。夏ごろになると、産み付けた卵から働きバチが羽化し始め、この時期に一気に巣が大きくなります。



八国山で見つけた高さ50cm位の大きなスズメバチの巣 (2022/2/13)

秋口になると夏に産み付けられた卵の中からオス蜂が誕生し、そのすぐ後に次期女王蜂が羽化します。やがて交尾が終わった女王蜂は、安全な越冬場所を求めて移動します。

晩秋に洗濯物にスズメバチが紛れていて刺される事故を耳にしますが、どうやら暖かな場所を求めた女王蜂が人間との不本意な出会いがそのタイミングなので、人間もスズメバチも近くで暮らしているので、上手く棲み分けられないものですかね。(中谷)

報告 川端会議の状況

今年度の北山公園整備計画等意見交換会（いわゆる川端会議）では、北山公園整備基本計画（以下「基本計画」）の策定を中心に意見交換が行われました。市によれば基本計画は、老朽化が進んでいる公園内の木道や水路、管理事務所棟の現状に鑑み、長期的な視点で公園の整備や維持管理を行っていくために策定を行うとのことでした。計画の策定にあたっては、2000年度の北山公園親水施設基本方針をはじめとした考え方を継承することとしています。

昨年11月に基本計画の素案が提示されましたが、北川かっぱの会の会員からは、①北山公園は水田、水路、菖蒲田、池、川など多様な湿地が存在することから、この湿地の保全を基本的に考えるべきであること、②希少種も多く、八国山とともに狭山丘陵の生物多様性を保全していくための拠点としていくべきであること、③あくまで水田を重視し、水田と雑木林を中心とした景観を守っていくべきであること、④善行橋下流右岸の河畔林を守ってほしいこと、⑤公園外の市営の駐車場整備は不要であり、また公園内には管理用の車のみが指定された場所に入れるようにすべきであること、⑥水に入って遊べる場をわざわざ新設する必要はなく、現状にない、水路と北川に限定して入ることができるようにすべきではないか、などの意見を出しました。



基本計画は3月5日の川端会議で最終的な議論が行われる予定です。北川かっぱの会では、来年度以降の工事の状況についても注視していきたいと考えています。

報告 公園の指定管理者制度が導入されます

東村山市では今年7月より、公園の指定管理者制度が導入される予定です（3月までに指定管理者が正式に決定予定）。市内には160ヶ所以上の市立公園や児童遊園、仲よし広場、緑道や緑地がありますが、これらの中には利用されていないものや、ボール遊びや幼児が遊べるなどの対応がなされていないもの、コミュニティ形成によるまちづくりにつながっていないものが見られ、改善すべき問題点として指摘されていました。市は7月から、これら**160ヶ所以上の管理を指定管理者に委託する予定です**（10年間の委託契約となる予定）。

指定管理者制度の導入のねらいとしては、民間事業者の柔軟な発想やノウハウを活用することにより、市立公園の潜在能力の発揮や市民サービスの向上を図ることとされています。市はこれまで各公園等の植栽管理や清掃等について個別に業者に委託し、また市民からの要望等について直接市で話を聞くなどの対応を行っていましたが、7月からはこれらの業務を指定管理者が実施し、さらに指定管理者は公園等を核とした地域コミュニティの再生や市民協働事業の推進に取り組むこととなります（なお、市と指定管理者との間は協定を締結）。市民協働事業の推進等にあたっては、指定管理者の中に市民協働の担当者が配置されることとなっています。

身近なところでの指定管理者の導入例としては、都立狭山公園や八国山緑地、また西東京市などの事例があり、それぞれ意欲的な取り組みがなされています。

7月からは、北川かっぱの会の主な活動エリアである**北山公園でも指定管理者制度が導入されることとなります**。北川かっぱの会が指定管理者の

新たな発想やノウハウを基に、市に加え、指定管理者とも連携や役割分担を行いながらイベント等を実施していくことに夢も膨らみます。しかし一方では、北山公園や北川の自然を保全していくという大きな目標からはずれるような事態になってい



いかどうか、また指定管理者が市民活動団体や市民と円滑に連携しているかどうかなどの点について、北川かっぱの会として定期的に意思疎通していく必要があるのではないかと考えています。

指定管理者制度関係の情報は、今後も本通信で触れていく予定です。

予告 総会を開催します

3月26日(土)13時より、中央公民館(東村山駅東口徒歩2分)の第5集会室で総会を開催します(今後のコロナの感染状況によっては、ネット上の開催に切り替える可能性もあります)。総会では2021年の活動総括と決算、2022年度の活動方針と予算などについて討議します。なお、議案書案は2月27日頃、かっぱブログに掲載予定ですのでご覧ください。

2021年の活動方針では、特に以下の事項を中心に検討していく予定です。

- ①将来に向けて持続可能な活動を行っていくことを前提とした場合、各事業の見直しを行っていく必要がないかどうか、見直しを行っていくとすればどのような見直しを行っていくべきか(例;支援者の拡大策、環境学習関係の活動、外来種の防除や川そうじ等の活動、北山田んぼなどの地域保全活動とのコラボ活動、かっぱ通信などの広報活動、手間暇がかかっている事務作業の軽減や費用の手当、...など)
- ②次世代に残すべき資料の整理(アーカイブの作成)をどう行っていくのか
- ③市や公園の指定管理者との協働や役割分担をどう行っていくのか
- ④新型コロナウイルスによる感染防止対策(オミクロン株対策)

「トトロの故郷北山公園 一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活」や「遊びの遺伝子を未来に継承」していくために、会員の皆様の参加をお待ちしております。



北川かっぱの会の原点(第8回)

地道な活動の継続

北川かっぱの会の創設後、北川かっぱの会を中心に、時には市や一般市民と協働しながら、様々な環境保全活動が行われるようになりました。

川そうじの関係では、1995年から市と連携しながら年2回の「北川クリーンアップ」が開催されていますが、1999年からは北川かっぱの会の独自イベントとして月1回の「定例川そうじ」を実施するようになりました。そして毎月収集したゴミの量を記録し、1年間に収集したゴミの量を年1回発表しています。ゴミの量は2004年にピークに達し、その後減少傾向にありますが、その後なかなかゴミがなくなる状況にあります。



川そうじをしながら川観察

調査活動関係(主なもの)では、会発足前の1994年より年1回、北川の**水質調査**を実施しています。北川の水質は、北川流域の公共下水道の整備が進んだ1996年頃から改善し、最近COD濃度(化学的酸素要求量のことで、数値が高いほど水が汚れていることを示す)で2mg/l前後の数値(2mg/l以下でイワナやヤマメも棲息することができると言われていた)で推移しています。

また北川かっぱの会では、定期的な北川の**魚類調査**を2005年以降、年1回実施するようになりました。2005年の魚類調査を契機として、都立狭山公園側にオオクチバス防除対策を講じてもらうこととなりました。一方、2009年にはアユ、2012年にはモクズガニと、共に東京湾から遡上してきていると推定される個体を確認することができるようになりました。魚類調査は、当初は専門家の指

導を受けつつも、現在では自立的な活動として継続している状況にあります。またこれら以外にも北山公園での**外来生物捕獲活動**や**捕獲数の調査**、八国山の雑木林を中心とした**動物相**などについても継続的な調査を実施しています。

これらの継続的な活動や調査は、北川流域の環境の現状を把握する上でとても大切なもので、環境を保全していく、あるいは復元していく方策を考えていく上で重要であると考えます。

報告 野鳥観察会

2月13日(日)の野鳥観察会。4人の参加で、その日に見た鳥の話がたくさん聞けました。ごく一部を紹介します。

- ・マガモとカルガモのあいの子を通称「マルガモ」という。
 - ・冬鳥のオオバンは水かきが独特で、恐竜のような足。
 - ・今、ハクセキレイは全国的に最も人にフレンドリーな鳥と言われる。(確かにかなり接近しても逃げない!)
 - ・シジュウカラとヤマガラは鳴き声は似ているが、ヤマガラの方がリズムカルに鳴く。
 - ・最近では外来種扱いされているコジュケイ。
- 他にもたくさんの興味深い話を聞くことができました。また、ツグミ、カシラダカ、アオジ、メジロ、シロハラ、シメ等たくさんの鳥に会えました。

そんな中、私の大収穫はオスのルリビタキでした。あの美しい青色の羽を見たいと数年思い続け、ついにご対面!寒い1日でしたが、ルリビタキとの出会いで一気に心が暖まりました。(藤)



報告 川でつながる発表会、交流会に参加しました

1月29日（土）川でつながる発表会、交流会に参加しました（新河岸川流域川づくり連絡会主催；オンラインで開催）。

発表会では、北山小4年生の研究発表がありました。北川かっぱの会が支援している総合的学習「大すき！北川」をテーマに、川そうじや魚とり、丸池への魚放流、外来生物の問題点、北山公園での外来植物の抜き取りや外来動物の観察などの総合的学習を基に、より広く、深く学んだ成果が児童8名から発表されました。発表を聞いて、何だか児童たちから大きな元気をもたらしたような気がしました。

交流会では、参加した市民団体5団体の活動状況についての報告がありました。北川かっぱの会

からは、会創設以来の歩み、特に「未来の川へ」の提言から北山公園内の親水広場と魚道の設置につながったこと、最近の「遊びの遺伝子を未来に継承」していくための活動や外来生物の捕獲状況について説明を行いました。参加者からは、特にコンクリート護岸を剥がして親水広場や魚道を設置した経緯や、最近の外来生物の捕獲についての市民への説明の方法などについて質問が出ました。北山小の児童からは、北川や北山公園など地域の自然を守っていくために、自分たちはどのような行動をして

いけばいいのか、という質問があり、参加者一同が深い感動に包まれたような気がしました。



報告 北山小4年生の総合的な学習・川の水質



「北川」ということで、実技授業の支援をかっぱの会で行ってきま

した。第4回目として「川の水を調べる」ということで、2月7日（月）に授業を行いました。

内容は主に川の水はどこからきて、どうして汚れるのか、水のきれいさはどうやって調べるか、生活排水の処理を下水道を使っていることを説明しました。

実習として、パックテストによるCOD測定、透視度測定を行いました

た。
パックテストは小学生の小さな手で扱うには難しかったかもしれませんが、色の変化で値を知ることは面白かったかもしれません。透視度は、学校の丸池と北川で濁りの差が出ていました。ちなみに測定結果は平均値でCODが北川1.5、丸池2.75mg/L。透視度は北川125cm以上、丸池115cmと、北川と丸池の水にちゃんと差が出ていました。

最後に北川をきれいな川にするために、生活排水を流さないことや、ゴミを捨てないこと、下水道があるけど生活排水は下水処理して川に戻すので、戻すための負荷をへらすためになるべく汚れないように排水して欲しいことを教えました。おまけに水に牛乳をスポイトで1滴落とすただけで、透視度が数十cmに濁るさまを知ってもらいました。

おすすめの本

「絶滅危惧種はそこにいる 身近な生物保全の最前線」

久保田潤一著 角川新書；1034円 税込



著者の久保田さんは NPO birth に所属し、「池の水をぜんぶ抜く」の解説者として有名なだけでなく、北山公園のかいぼりをはじめ、生物多様性保全関係の調査など、北川かっぱの会でも大変お世話になっている方です。たっちゃん池やしょうちゃん池のかいぼりの他、北川かっぱの会の活動も紹介されています。会員必見の本です。

2022年3月～4月 活動スケジュール

ホは **ホ**ランティア募集 の略、**会**は会員のみの略

性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かっぱの会)
または直接会員にお知らせください

コロナウイルス感染防止のため、変更、中止となることがあります。
「かっぱブログ」等で最新の情報の入手をお願いいたします。

かっぱ総会 3/26(土) 13:00～15:00

中央公民館第5集会室(東村山駅東口徒歩2分)

川端会議 3/5(土) 10～12時

市民センター。策定中の北山公園整備基本計画を中心に検討が行われる予定です。どなたでも参加が可能です。

定例川そうじホ

毎月第2土曜 9～11時

3/12(土) 4/9(土) 集合:北山小正門前

北川いきものクラブホ(魚とりなど)

4/9(土) 13:00～15:00頃

北山公園親水広場付近で北川で捕れた魚を展示するとともに、魚とりを楽しみます(雨天順延)。

カゴアミの設置や日光浴ワナの設置と点検 木

4/9(土)13:00~14:00頃、以後第2土曜の同時刻に実施。(小雨決行)北山公園しょうちゃん池集合以上の他、不定期の点検作業あり(ブログ参照)

かっぱ定例会

4/9(土)16:00~17:30頃(中央公民館を予定)、6月頃までの活動について検討します。

多摩湖緑地・原風景を守る会活動日程

毎月第1日曜 9:00~
第3土曜、第3水曜 13:30~
畑にて維持管理作業と収穫と落葉かき

北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料82円。新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップ-未来の川へ-』北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

『八国山・北山公園の生き物観察ガイド』

A2両面版の生き物ミニ図鑑と解説。観察会などイベントで無償配布。

『北川・八国山・北山公園いきものマップ』

かっぱの会20周年記念発刊。北川・八国山・北山公園では、どこにどんな生き物が見られるか、環境ごとに誰もが普通に見られる種を主

体に示したマップ。観察会などイベントで無償配布。A2両面版。

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

●会費 一般会員:年間3000円
支援会員:2年間で2000円
学生は2年間で1000円
「かっぱ通信」年5回をお送りします。

●問い合わせ・申込み先
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先
〔郵便振替 00120-6-104476〕
〔りそな銀行東村山支店
(普)3605694〕

加入者名 北川かっぱの会

●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いています。

●編集後記 (遊星歯車)
川の水はなぜ汚れるのか、東村山市では2021年4月1日現在下水道への未接続世帯が610軒、下水道水洗化率は99.2%とあった。北川流域には無いと聞かすが、北川の水源は多摩湖下の湧水にあるのだが、どこかの家庭の排水が含まれていないことを望むばかりだ。(遊星歯車)

●発行:北川かっぱの会
連絡アドレス
CZT12221@nifty.ne.jp

